



こんにちは！株式会社のぐちです！5月です。桜の花もすっかり散って青葉が目優しい季節ですね。桜の枝には可愛い小さな実が沢山ついています。来春に綺麗な花を咲かせる準備を整えているのでしょうか。自然の力で凄くなって思います。その自然の中で生きている私たちもきっと凄い力を持っているのかも。子どもの頃から「大器晩成」と言われてきた私ですが、かなりな「晩成期」となった今でもそこそ凡人です。いつになったら晩成するのでしょうか。毎日元気よく起き、散歩もし、仕事も頂け、何よりご飯がうまい！それこそが今の私にとって「晩成」なのかもしれません。仲間の病氣自慢を聞きながらも優越感に「ニンマリ」性格悪いでしょ～  
それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

株式会社 **のぐち**



## 5月の歳時記

「お茶 (TEA)」

「♪夏も近づくと八十八夜～」新茶の季節ですね。新茶を飲むと一年間無病息災で過ごせると昔から珍重されています。お茶は中国では古くから薬、解毒剤として用いられていました。今から1200年ほど前に日本に伝えられた際も薬として輸入されました。「お茶を一服」という言葉からも伺われます。日本の茶文化の始まりは平安時代とされています。当時は大変な貴重品で、僧侶や貴族階級などに限られていました。江戸時代に煎茶が出まわると、庶民の口にも入るようになりました。煎茶の祖と呼ばれる永谷宗円が生み出した「永谷式煎茶」はそれまでの中国式煎茶のお茶にはなかった鮮やかな色と甘味、香りで江戸市民を驚嘆させたといわれています。いわば日本茶のルーツですね。日米修好通商条約を結んだ、江戸幕府は日本茶の輸出を始めます。明治維新後も輸出量は増加し、輸出の花形でした。そして現在、和食人気と健康志向の高まりにより、日本茶が世界的ブームとなっています。ここで豆知識。「茶摘みは」春の季語ですが、「新茶」は夏の季語。春につんだ茶葉に茶もみなどの一連の作業を加えて出来上がったお茶を夏に飲むからですか？今ではペットボトル入りのお茶を手軽に持ち運べるようになり、いつでもお茶を楽しめます。季節のお菓子をお供に和の心を味わいたいですね！

では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、  
笑顔でむかえて下さいね。

## これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

### 「高機能シャープペンシル オレンジAT」

ノックに費やす時間を削減可能な自動芯出し機構と、芯の折れによるタイムロス削減可能なオレンジシステムによりタイムパフォーマンスを向上する高機能シャープペンです。芯とパイプが一体となった特殊な機構。紙面からパイプを離す度に芯がでてくるので、ノック1回で芯が1本なくなるまで書き続けることが出来ます。ペン先が芯の減りに合わせてスライドするので、芯を守ったまま書き続けられます。ラバー+金属の「デュアルグリップ」を搭載。しっかり握れるので集中力が途切れず書き続けられ、グリップの重みで低重心となり、軽い筆圧での安定した筆記が可能。長時間筆記しても疲れにくい！「これいいじゃん」ってわけぜひ皆さまも試してみてくださいね。



カラーバリエーションはダークレッド、ダークブルー、グレースルバーの4色  
小売希望価格 2,000円(税別)

### スタッフ登場

4月は我が家で毎年の恒例行事になっている、埼玉県幸手市にある権現堂に行ってきた。現地に着いた時は既に駐車場はほぼ満車！ちょっと不安になりましたが何とか駐車することができてひと安心・・・早起きしたかいがありました。

そこはソメイヨシノと菜の花が有名で満開になっていました。屋台も百店近くあり、「花よりの団子」で子供達と一緒に食べ歩きしてしまいました。お昼は、桜の下で作ってきたお弁当を家族みんなで食べていると桜が舞い散る光景が見られて家族みんなできれいだねって・・・

昼食後は、菜の花畑を歩いていると三歳の娘がじっとしてないので何かしてしまうのではないかとハラハラドキドキそんな気分になりました。帰り途中、敷地内に子供も大人も一緒に楽しめる公園があり、その中でも大きい滑り台は人気で混んでいましたが何度か一緒に滑って楽しみました。また思い出が一つ増えた一日になりました。

業務

堀江でした

